

第5章 基本方針及び導入機能

5-1 基本コンセプト及び整備方針

前提条件の整理を踏まえ、新たな体育館の基本コンセプトを次のように定める。

スポーツを楽しみ、夢を育み、交流を生み出す体育館

(1) 整備方針

①町民が気軽にスポーツを楽しむ体育館

町民の誰もが使いやすく、レクリエーション、健康増進等に取り組むことができる体育館とします。整備にあたっては、利用者に優しいバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮します。

②町民がスポーツを観て夢を育む体育館

トップレベルの大会などを観戦することで、子どもたちの夢を育む場となる体育館とします。

③人が集まりにぎわいが生まれる体育館

運動、スポーツという機能に加えて、様々なイベントを行う場として整備を図り、人々の交流を促進し、地域の活性化に寄与する体育館とします。

④防災拠点としての役割をもつ体育館

災害時の避難施設として対応するなど、防災機能を備えた体育館とします。

5-2 導入機能の方向性

アンケート及びヒアリング調査、策定委員会等の意見を踏まえ、諸室（導入機能）の方向性を下記の通り想定する。

諸室等	意見等	整備の方向性
アリーナ	県大会、九州大会を開催できる規模としてほしい。	・バスケットコート3面、バレーコート4面、バドミントンコート12面、卓球台30台以上、ハンドボール2面
	太陽光を遮るカーテンが必要。	・62m×44m
	天井・壁の色は白を避けてほしい。	・カーテンの設置または窓の配置検討
	硬すぎる床は避けてほしい。	・天井の色、濃色検討
	照度や照明の検討が必要。	・床組みの上、仕上げ材を設置
サブアリーナ	壊れにくい壁・建具必要。	・必要照度の確保と位置検討
	県、九州大会を開催できる規模としてほしい。	・壁・建具の強度を考慮
観客席	観客席が必要。	・バスケットコート1面を設置（アリーナ3面も含めて4コートで大会が出来る）
	大会時に選手30名×16チーム=480名、応援500名程度が座れる観客席が必要。	・2階固定席1,000席程度客席を設置

諸室等	意見等
	横長より、すり鉢状の客席の方が見やすい。
ランニングコース	ランニングコースがあるとよい。
トレーニングルーム	体カづくりの健康器具が必要。
舞台	大会時ステージは可動式で良い。 イベント時発表できる舞台がほしい。
会議室	研修などで会議室が必要。
器具庫	広い倉庫が必要。
トイレ・シャワー	トイレ、シャワー室が必要。 トイレは多く、各場所にはほしい。
空調設備	空調設備必要。 熱中症対策が必要。 空調があれば県大会が誘致できる。
駐車場	選手バス、大会関係者、応援用（県大会 300 台 + バス 16 台以上必要）。 イベント（イベント来客 500 台必要、現在は学校グラウンド等からシャトルバスで対応）。
屋外イベント広場	屋根付き・人工芝広場が欲しい（プロサッカー交流イベント、フットサル、ペタンク）。キッチンカー。
カフェ・レストラン	地元の産業育成に寄与するようなチャレンジショップは面白い。 飲食施設があると整備後の維持管理も含め、集客が可能ではないか。
宿泊施設	合宿が出来る施設があると良い。
バリアフリー	全ての人利用しやすい体育館が必要。
防災	災害時の避難施設としての検討も必要。災害の備蓄は現状足りていない。
その他	ウルトラマンを観光の目玉にするのはどうか。観光協会の移行、案内所の統合。



整備の方向性
・客席形状を検討
・ギャラリーにランニングコースを設置
・トレーニングルームの設置
・ステージは可動式
・会議室の設置（80 名程度） ・鏡を設置する（ダンス用）
・広く使しやすい器具庫を設置
・トイレ、シャワー室を設置
・空調設備を設置
・普通車 500 台程度・バス 16 台設置。 不足する場合は公民館駐車場・高架下駐車場の利用を検討
・広場を設置（屋根付きを検討）
・民間事業者のアイデアや市場性の有無を把握
・宿泊施設検討（用途上の規制を確認）
・バリアフリー、ユニバーサルデザインを考慮
・災害時における避難場所及び備蓄センターとしての役割を検討 ・災害時の排水およびマンホールトイレの検討
・町の目玉ポイントの検討

5-3 敷地の設定

体育館の整備にあたっては、3-2 敷地候補地の検討で示したとおり、黄金森公園区域に編入し、公園区域を拡大する必要がある。体育館及び駐車場と広場等の規模を考慮して、新たに約2.6haの土地を設定する。



図V-1 敷地の位置

※敷地規模について

敷地規模は、以下の点を考慮して約2.6haと設定した。

○建築面積：6,500㎡程度

- ・バスケットボール公式戦対応コート4面（サブアリーナ含む）
- ・ハンドボール公式対応コート2面
- ・観覧席（固定席）1,000席

○駐車場：300台程度（既存を含め500台程度）

○広場、緑地等

- ・各種イベントの開催
- ・体育館との連携利用
- ・緩衝空間の形成